

第 46 回 NAFO 年次会合結果概要
(日本トロール底魚協会関連議題)

9 月 23 日から 27 日にカナダのハリファックスで開催された NAFO (北西大西洋漁業機関) 年次会合に、当協会も出席しました。

1. 2025 年の漁獲可能量

カラスガレイ (3 LMNO 区): 14,791 トン (昨年から 362 トン減)
我が国の割当量: 1,123.5 トン (昨年から 27.5 トン減)

アカウオ (3 M 区及び 3 O 区): それぞれ 17,503 トン及び 20,000 トン (昨年同)
我が国の割当量: それぞれ 400 トン及び 150 トン (同)

タラ (2 J3KL 区): 18,947 トン (昨年はモラトリウム)
我が国の割当量: 19.14 トン

2. 保存取締措置の改定等

(1) 我が国漁船によるイカ操業に関し、操業時に混獲されるアカウオ等に対する directed fishery 適用免除について、2026 年までの 2 年間延長が合意された。

(2) 2・1・3 K 区のアカウオについて、NEAFC における禁漁措置を踏まえ、漁獲可能量がゼロとされている中、当該海区で漁獲されたアカウオの保持・陸揚げ及び漁獲船舶への港湾サービスの提供の禁止等が合意された (ロシアが強硬に反対したため採決により決定。我が国は域外国であること等を理由に棄権。)

(3) VMS 等の電子報告への UNFLUX (Fisheries Language for Universal Exchange) 規格の導入について、作業部会を設置し検討することが合意された。

3. 今後の会合

次回の年次会合は、2025 年 9 月 15 日から 19 日までハリファックスでの開催が、また、2026 年については、9 月 21 日から 25 日にリトアニアでの開催が合意された。

(以上)